

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(鴨江小)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校目標や課題を確認しながら、学校運営に対するビジョンを学校長と共有し、手立てについて意見を述べることができた。
- 学校運営の基本方針についてグランドデザインを基に共通理解できたと思う。
- 学校事務局の丁寧な説明・提案と協議会での議論において、全体としては学校運営の基本方針の概要について概ね理解できたと考えている。それをもとに有意義な熟議ができ、学校支援、学習支援のボランティアが拡大できたことは大きな成果であったと思う。
- 熟議のための時間がもう少しあるとよい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- コロナ禍ではあったが、創意工夫し、ワークショップ形式で現場職員とコミュニケーションの場を設け、積極的に熟議することができた。運営協議会委員と学校職員がグループになり話し合いができたのは有意義な活動だった。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 子供、親、地域や学校関係者が積極的に触れ合える機会を作りたい。学校整備なども保護者から意見をいただき、市にあげるなど、より良い環境を作っていくような取組みをしていく。
- 子供たちが安全な学校生活を送るために何ができるかを考え、学校支援ボランティア代表として声掛けをしていきたい。こんなボランティアがあったらよいという意見をいただきながら支援をしていく。
- 持続可能な活動にするためにも、学校運営協議会が橋渡し役となって、学校、保護者、地域をまとめる組織を確立し、持続可能な活動にしていく。
- 委員全員の、学校運営に対する認識のレベル合わせが必要である。第1回の運営協議会で、運営方針についてしっかりと確認していくことが重要である。
また、課題の解決のためにさらに踏み込んだ意見が出せるようにするために、職員と委員がコミュニケーションの場を設け、課題を共有し、委員としてどんな支援ができるかの話し合いに時間を十分かけていく。